

# 北九港&空 NEWS

2019  
SUMMER  
Vol.17



令和元年5月21日より北九州市響灘沖で実証運転を始めた浮体式洋上風力発電システム  
令和元年7月1日撮影



ひびきコンテナターミナルに初入港した「コスタ・ベネチア」  
令和元年7月30日撮影

- ▽ テーマ  
北九州空港
- ▽ ニュース  
北九州空港に北九州-中国・大連便が新就航  
国内旅客船初のスクラバー搭載船が進水



## イベント報告

### 関門港ポルト天国

令和元年7月14日(日)、北九州市門司港レトロ地区で「関門港ポルト天国」が開催されました。海に親しんでもらうことを目的とした、関門港に関する官公署・民間企業が協力して行われる海の日のイベントで、今年で31回目を迎えます。当日は、人気イベントの「SWIM&RUN」、プロレジャーボートの体験乗船や巡視艇の一般公開、消防艇の放水などが行われ、約1万1千人の方々が夏の関門港を楽しみました。旧門司税関では、パネル展が行われ、2177名の方にこの来場いただきました。当事務所もパネル展に参加し、港湾の仕事やTECOPORCEの取り組みなどのPRを行いました。



### ミニ・ミニ・トラ アスロン大会

令和元年8月4日(日)、「第34回ミニ・ミニ・トラアスロン大会」が今年も開催され、北九州市門司区めかり塩水プールから太刀浦ふ頭にかけて、総勢約3000名の選手が熱い戦いを繰り広げました。当事務所は、「運動不足の人コース」にエントリーし、怪我もなく無事に完走することができました。



## ニュース (NEWS)

### 北九州空港に北九州-中国・大連便が新就航

北九州市と中国・大連市の友好都市提携から40周年を迎え、令和元年8月17日(土)、北九州-大連間の国際定期便が新規就航しました。機材はエアバスA320(156席)を使用し、週3便(月、水、土)で運航しています。

スケジュール	
北九州空港発	11:55 ⇒ 大連空港着 13:05 (現地時間)
大連空港発	7:55 (現地時間) ⇒ 北九州空港着 10:55



就航したエアバスA320

### 国内旅客船初のスクラバー搭載船が進水

令和元年8月2日(金)、令和2年1月からのSOx(硫黄酸化物)規制強化に対応した国内旅客船で初のスクラバー(排ガス浄化装置)を搭載した阪九フェリーの新造船進水式が行われました。

瀬戸内海を運航するカーフェリーとしては最大級であり、「せつつ」と命名され、令和2年3月から新門司港-神戸に就航予定です。

阪九フェリー新造船(せつつ)			
総トン数	約16,300トン	旅客定員	663人
全長	約195m	乗員定員	36人
全幅	29.6m	積載能力	8.5mトラック約277台 乗用車約188台
喫水	6.7m		



【提供】阪九フェリー株式会社



国土交通省 九州地方整備局  
北九州港湾・空港整備事務所  
〒801-0841 福岡県北九州市門司区西海岸1-4-40  
TEL(093)321-4631 FAX(093)322-5525  
Webアドレス <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>



九州地方整備局では、平成29年7月より、各施設を管理する事務所等でインフラカードを無料配布(全65種類)。配布施設等で希望すると1枚無料で入手できます。





北九州空港

現在の北九州空港は、北九州市曽根地区より移転し、平成18年3月16日に開港した海上空港です。空港周辺には、本州や九州各地を結ぶ高速道路網やフェリーの基地が整備されており、陸・海・空の交通ネットワークの要所となっています。

今回は、この北九州空港とその周辺施設について紹介します。

### ①北九州空港の特徴

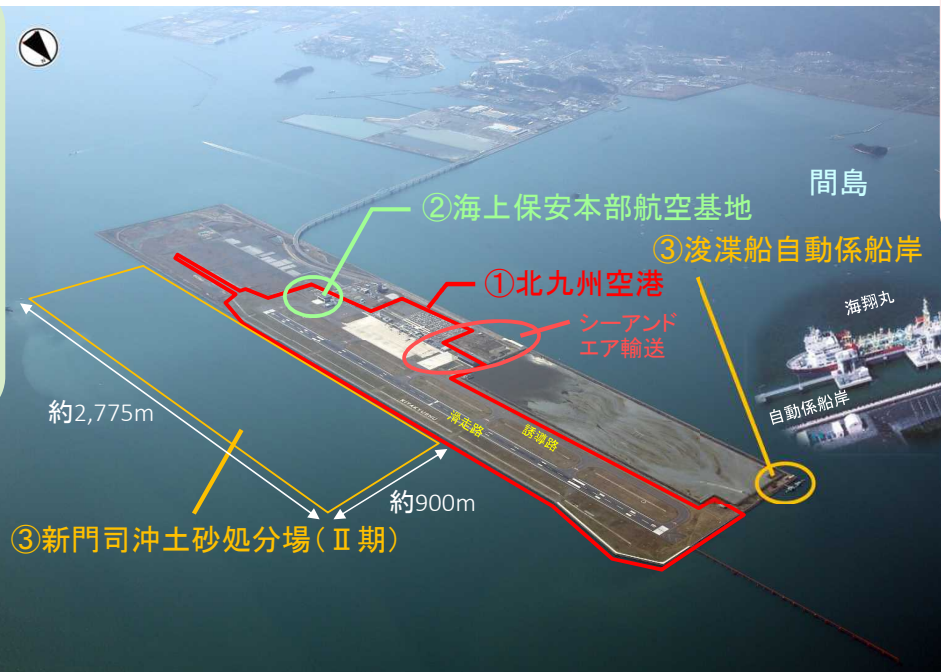
北九州空港は、九州で唯一24時間運用が可能な空港として、早朝から深夜まで旅客便が運航されています。また、平成30年6月には貨物専用定期便としてANA Cargoが就航。九州を中心に広島以西の貨物について、那覇空港を経由して、翌日の午前中にはアジア6都市へ貨物運ぶことができるようになりました。

また、海上空港の特性を活かし、世界最大級の超大型貨物専用機(アントノフ)を使用した航空輸送と海上輸送を組み合わせた「シーアンドエア輸送」も実施されています。



アントノフ(An-124)  
〈輸送ルート事例〉

米国 → (航空輸送) → 北九州空港  
→ (海上輸送) → 長崎県壱岐市



③新門司沖土砂処分場(Ⅱ期)

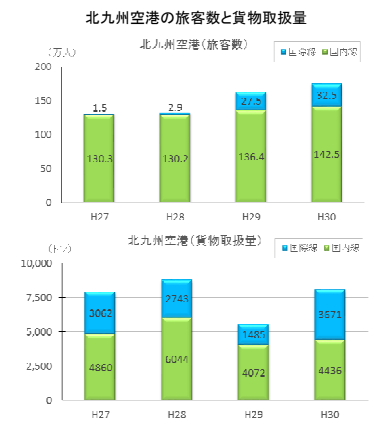
第46代所長 瀬賀康浩

### 第46代北九州港湾・空港整備事務所長 瀬賀 康浩

7月9日付で北九州港湾・空港整備事務所所長を拝命した瀬賀康浩と申します。

平成2年入省後、最初に勤務したのが第四港湾建設局下関調査設計事務所(現在の九州地方整備局下関港湾空港技術調査事務所)で、住んでいたのが門司区の田野浦です。それ以来、こちらでの勤務はありませんでしたから、およそ30年振りの北九州と云うことになりそうです。

この頃はさすが街の様相も変わってしまいましたが、時代や情勢に取り残されないよう頑張っていく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



### ②海上保安本部航空基地の移転

近年、領海警備や海難救助の重要性が高まるなかで、第七管区海上保安本部で唯一の航空基地である福岡航空基地が、福岡空港滑走路増設事業により北九州空港に移転することとなりました。



アグスタ139型 ビーチ360型

第七管区海上保安本部 所属航空機



### ③周辺施設の紹介

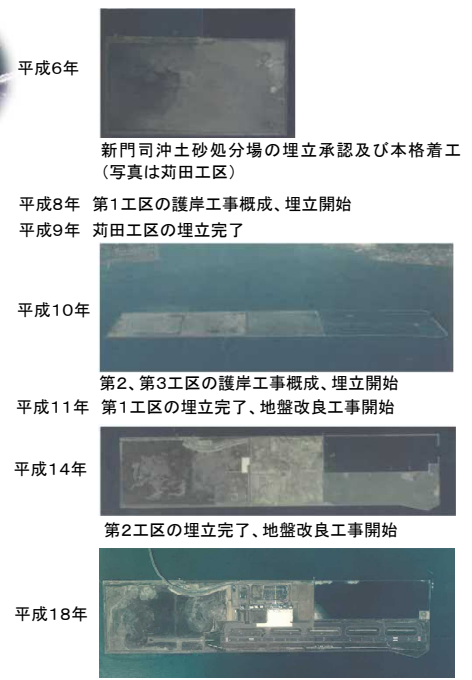
- 1) 新門司沖土砂処分場(Ⅱ期)  
近年の船舶大型化による物流の効率化、海上交通の安全性向上、港湾機能の拡充等のための整備に伴う浚渫土砂の受入れ先として、護岸の整備を行っています。
- 2) 浚渫船自動係船岸  
空港北側には、関門航路の浚渫作業を24時間行っている大型浚渫兼油回収船「海翔丸」の「操船→接岸→浚渫土排出→離岸」をコンピュータ制御で自動化している世界初の「自動係船・自動陸上排送システム」を運用しています。

### 間島の話

間島は、小倉南区曽根新田から約2キロメートル沖合にある小さな無人島です。干潮時には干潟が現れ、間島と海岸線が陸続きとなり、歩いて渡ることができます。

島の形状がクジラの形に似ていることから、地元では「クジラ島」とも呼ばれています。島内には、6世紀後半に造られた古墳や17世紀初めに小倉城の石垣を造るために石切場跡が切られた跡があります。

### ④空港ができるまで



### ⑤北九州空港まつり

令和元年9月28日(土)、北九州空港で空港まつりが開催されます。普段は入れない空港内をバスで周回し、進入灯や飛行機の離発着を間近で見学でき、フライトシミュレーターの体験などが予定されています。当事務所は、建設機械の体験乗車やパネル展示を実施予定です。